

岩手大学の
ササビステテ
ナイ

06

基本理念

岩手大学は、地球環境の保全・再生が21世紀の最重要課題の一つであると認識し、環境意識の高い人材の育成をはじめ、環境保全・再生に向けた教育・研究を積極的に推進し、SDGs(持続可能な開発目標)を踏まえ、持続可能な社会の実現に貢献します。

またその一環として、岩手大学内の活動のすべてにおいて、大学・附属学校構成員及び常駐する大学関係者が一致協力して環境に配慮し、大学の社会的責任として環境負荷の軽減と環境汚染の予防やキャンパス環境の改善に努めます。

岩手大学の取り組み



EMS 学生委員会

例年、50名程度の学生委員が在籍し、7つのチームに分かれて、大学及びその周辺の環境改善のために日々活動しています。

学生・教職員協働での学内監査

「環境マネジメント実践学」を受講する学生と、教職員が一体となった監査チームが毎年、大学組織に内部監査を実施します。

環境報告書の作成

環境改善への取り組みの成果を環境報告書として作成し、多くのステークホルダーの皆様にご報告しています。



岩手大学
環境報告書



<https://www.iwate.ac.jp/about/management/environment.html>

中国青年公益事業交流団交流会

岩手大学環境マネジメント学生委員会は「2021年度中国青年公益事業交流団オンライン交流」に参加しました。

この交流は、中国の政府機関や企業、大学でボランティア等に従事する青年が、日本の同分野の関係者と交流活動を行うものです。

異なる背景・視点を持ちながらも、同じ環境保護について関心を持った同世代の学生との交流は、良い刺激となりました。



主な受賞歴

岩手大学による環境分野の教育・研究・社会貢献活動は、大学外から高く評価されています。特に、岩手大学環境マネジメント学生委員会をはじめとする学生と教職員の協働による環境配慮活動・環境マネジメント活動は、特色ある取り組みとして、各賞の受賞理由に挙げられています。

- 第23回環境コミュニケーション大賞(主催:環境省)「環境配慮促進法特定事業者賞」(第23回環境コミュニケーション大賞審査員長賞) 受賞(2020年)(同賞受賞2016・2017年)
- 令和元年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰「対策活動実践・普及部門」 受賞(2019年)
- 第21回地球環境大賞「文部科学大臣賞」 受賞(2012年)
- 第1回エコ大学ランキング「総合1位」(2009年)・「総合2位」(2010・2013年)

ダイバーシティ

岩手大学は、平成 21 年の男女共同参画推進宣言(学長宣言)以降、男女共同参画推進室 を立ち上げ、「岩手大学男女共同参画行動計画」に基づき、積極的に男女共同参画、ダイバーシティを推進してきました。本学独自の取組に加えて、文部科学省女性研究者研究活動支援事業「共生の時代を拓く、いわて女性研究者支援」(平成 22～24 年度)、

同「いわての復興に貢献する女性研究者支援」(平成 25～27 年度)、同省科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)「ダイバーシティ実現で北東北の未来を先導」(平成 27～令和 3 年度)にも取り組んできました。今後もこれらの事業を継続・発展させ、女性活躍、ダイバーシティを推進していきます。

1 ワーク・ライフ・バランス / 両立支援



学内保育スペース
「ばるんひろば」(平成 22 年～)



事業所内保育所開園
がんちゃんすくすく
保育園(平成 30 年 3 月)

このほか

- * ワーク・ライフ・バランス / キャリア相談室
- * 病児病後児保育および休日勤務時の保育支援
- * 育児休業や子の看護休暇などの法定を上回る制度拡充
- * 次世代育成支援職員制度
- * 両住まい手当
- * 長期休暇中の学童保育(ウィンタースクール)

2 次世代を担う学生に向けて・・・

男女共同参画推進学生委員会(GESCO)

性別にかかわらず岩手大学生が過ごしやすいキャンパスになるように自主的に活動を進める学生たちを応援しています。

工学 GIRLS との連携

女子学生にとって過ごしやすい環境づくり、理工学部に女子学生を増やすことの2つを目的に活動する理工学部所属の女子学生グループ「工学 GIRLS」と共催でイベント等を開催しています。

男女共同参画の視点を踏まえた大学の運営

学びやすく、働きやすい環境の整備 学生・教職員からの意見を反映 ダイバーシティに関する意識の向上
女性教職員の積極的登用・女性参画の拡大 女性教員比率の目標達成

3 研究における支援

女性研究者の研究活動支援



- * ポジティブ・アクション(女性限定公募、One-Up 制度、ダイバーシティレポート制度など)
- * 研究環境整備
- * 女性研究者の研究支援(共同研究支援、研究支援者・補助者の配置、研究・交流フェアの開催、メンターシッププログラム等)

優秀女性大学院生学長表彰(鷹嘴テル賞)



優れた研究活動を行っている女性大学院生を表彰しています。

4 地域社会に向けて・・・

女性のキャリア形成支援リカレントプログラム

地域の働く女性を対象に、女性リーダー育成を特長としたリカレントプログラムを提供しています。



いわての女性研究者ネットワーク

いわて圏域の大学・高等専門学校・研究機関が「いわて女性研究者支援ネットワーク」を形成し、女性研究者の研究活動支援や育成、裾野拡大に取り組んできました。2022 年～上位職の女性研究者を対象とした「いわて女性リーダー職研究者ネットワーク」へ転換します。

令和 3 年度トピックス



性の多様性(LGBT/SOGI)に関するガイドライン制定

ブックレットも作成し、性の多様性について理解を深める目的で講演会も開催しました。



すずらん基金創設

女性活躍、ダイバーシティを積極的に推進するために、女性活躍・ダイバーシティ推進「すずらん基金」を創設しました。

男女共同参画推進室は、令和 4 年 4 月に「ダイバーシティ推進室」に変わります。

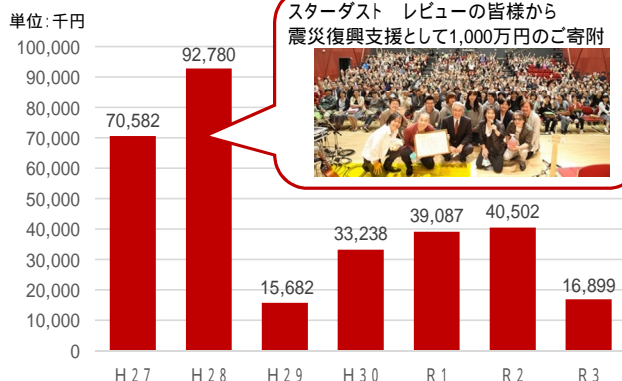
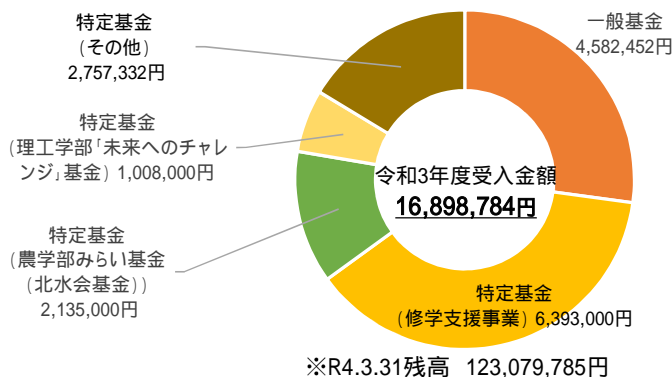
岩手大学イーハトーヴ基金

岩手大学では、教育研究の充実はもとより、学生に対する修学支援の一層の推進を図るため、平成27年度から「岩手大学イーハトーヴ基金」を創設しております。コロナ禍における困窮学生への支援や、修学・研究の環境整備、また、国際交流事業への支援など、学生支援の質の向上は国からの運営費交付金だけでは十分に対応できない分野であり、寄附金によるサポートが欠かせません。

本基金は、その用途をあらかじめ特定せず幅広く本学の教育研究支援及び学生支援にご寄附いただく「一般基金」と、用途をあらかじめ特定したうえで、ご寄附をお願いする「特定基金」で構成され、これまで、企業・団体や個人の皆様など多くの方々からご支援をいただいております。今後とも、卒業生、ご父母、教職員、そして本学に関係する多くの皆様方のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

受入状況

受入額の内訳と過去の推移



主な支援実績

令和3年度は、修学支援事業基金(特定基金)や一般基金等で、新型コロナウイルスの影響により経済的に困窮する本学学生の支援や国際交流・留学生支援事業等に活用させていただきました。詳細は本報告書の「トピックス」「コロナ対応」をご覧ください。

修学支援事業基金

給付型奨学金	支援金額	100,000円	対象者	41名	総額	4,100,000円
生活支援(学修支援金)	支援金額	10,000円	対象者	318名	総額	3,180,000円
	支援金額	5,000円	対象者	142名	総額	710,000円
食事支援(岩大100円朝食・岩大200円夕食・Choice the 学食BENTO!)					総額	1,025,600円
						9,015,600円

一般基金

国際交流・留学生事業等	2,747,900円
課外活動等支援	1,733,999円
その他学生支援	1,200,000円
運営経費	2,344,748円
	8,026,647円

その他特定基金

7,971,732円

令和3年度執行額

25,013,979円

寄附方法

イーハトーヴ基金では以下の払込方法をご用意しております。

郵便振替 銀行振込 クレジットカード決済 コンビニ決済 Pay-easy決済

また、岩手大学への寄附金については、所得税、個人住民税、法人税の税制上の優遇措置が受けられます。詳細は基金ホームページからご確認いただけます。

お問い合わせ先

〒020-8550 岩手県盛岡市上田3-18-8
 岩手大学 法人運営部 基金室 平日9:00~17:00
 TEL:019-621-6091 FAX:019-621-6014 E-mail:kikin@iwate-u.ac.jp
 基金ホームページ: <https://www.iwate-u.ac.jp/ihatovkikin/index.html>

イーハトーヴ基金
ホームページ

